

きよーちゃんだより



2022年6月 NO.2

医療生活協同組合やまがた 看護学生委員会発行

医療生活協同組合やまがたの看護学生委員会と申します。中学生、高校生の皆さんに伝えたい情報をおたよりとして定期発信しています。よかったら読んでみてください。

今回は鶴岡協立病院についてご紹介いたします。鶴岡協立病院は鶴岡市文園町にあります。鶴岡第三中学校の近くです。具合が悪くなった時に診察を受けることができる病院です。

救急車で搬送されてくる患者さんもいます。急性期及び慢性期医療（*1）を担っています。コロナ禍においては発熱外来やコロナワクチン接種などを行っています。



看護師が働く 職場紹介



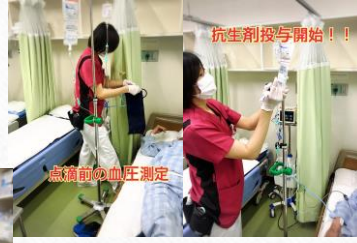
鶴岡協立病院 外来看護科

<急患室>

いつでも具合の悪い患者さんが救急車で搬送されてきます。その時、1番初めに状態を観察するところです。たくさんの医療機器が装備されていて、緊急対応が必要です。患者さんのいのちを最優先する現場になります。ここでの看護師の役割はとても重要となります。

<外来>

「外来は病院の顔」、常に患者様を温かく迎え、安心して医療を受けられるように援助するとともに人を大切にする看護を提供しています。内科、外科、循環器内科、整形外科、皮膚科、腎臓内科があります。鶴岡協立病院の外来看護科は外来、手術室、内視鏡室の3つの部門が一緒になった部門です。手術室や内視鏡室についてはまたの機会に紹介します。



医師の指示により
点滴、採血、検査
など実施します。

（*1）説明します！

急性期医療とは??

急病の患者さんの対応をすることです。

慢性期医療とは??

急病は治ったけど、定期通院が必要な患者さんや退院してお家で療養をしていたけれど状態が悪化した患者さんに対し、継続的な治療とリハビリテーションを行うことです。



質問などありましたらこちらまでどうぞ

<看護学生委員会事務局>

☎ 0235-23-6060

(内線) 2820

E-mail honbu@shonai-mcoop.jp